

「経営規模の拡大」～新たな地域への参入～



(株)サンワファーム
(尾道市因島)



代表取締役 中島 秀晴

設立 平成20年11月

経営面積 3.3ha

(うち機構活用面積0.8ha)

生産品目 ぶどう レモン

従業員 役員3名 常時雇用 5名

経営の特徴

中山間(ぶどう)・島しょ部(レモン)

双方に生産拠点を設けた果樹生産

～事例のポイント～

- ①ぶどうとレモンの複合経営で周年雇用の実現
- ②離農した農地を引き受けて新規参入

地域の課題

因島町重井大早地区は古くから柑橘の生産が盛んでしたが、高齢化等により離農者が多く、遊休農地の増加が懸念されていました。

離農後の農地の一部は、地区内の担い手が受けていましたが、これ以上の拡大が困難な状況で、地区外からの担い手確保が課題となっていました。

調整役(柏原コーディネータ)のコメント

地区内の担い手から「離農」の相談を受けていましたが関係機関を通じて(株)サンワファームが農地を探しているという情報を受け、タイミングよくマッチングすることができました。



マッチングのきっかけ

機構コーディネータが中心となり、レモン生産に適した候補地を選定。地元農業委員等の協力を得て生産者及び農地所有者に意向確認を行い、約80aの農地を確保することができました。

(株)サンワファーム

世羅農場(ぶどう2.5ha)



因島農場(レモン0.8ha)



夏～秋収穫

収穫期の異なる品目を組み合わせ、周年雇用の実現へ

秋～冬収穫

機構を活用して良かったこと 今後の経営の抱負

地縁のない地域への参入でしたが、コーディネータの仲介や農業委員の協力があったお陰で、短期間でまとまりのある農地を確保することができました。将来的にはレモン栽培面積を増やし、2拠点での周年営農体系を続けていきたいと考えています。

